

A year ago today, I was anxiously awaiting word from Ryukyuu Geidai as to whether or not my scholarship application was accepted. I knew then how fortunate I would be to be given such an opportunity, but I never imagined what actually lay ahead of me. The celebratory day arrived when I learned of my acceptance and that I would actually be on my way to Okinawa to study for a year. I left Hawaii with mixed emotions – on one hand, nervous about leaving my family and friends for the first time to live away from home, and, on the other hand, excited about pursuing my dream to study and live in Okinawa. 一年前、私は芸大の県費留学生としての受入れ決定の通知をはらはらしながら待っていました。その頃すでにこのような機会が与えられるという事がどれ程、幸運な事なのかと感じていましたが実際にはどのような事が待ち受けているのかは想像すらできませんでした。それからしばらくして受入れが決定したという知らせを受ける祝福すべき日が来たのです。私は複雑な気持ちを抱いたままハワイを発ちました。友達や家族と離れ、初めて遠くで暮らすという不安と沖縄で勉強ができる夢が実現したという興奮です。

Okinawa – the mother land for this nikkei sansei Okinawan American. Immersed in her culture, her people, her lifestyle, Okinawa has awakened my heart and spirit in ways I never dreamed of. My year here has been brimming with new experiences which have broadened my horizons in ways unimaginable to me a year ago. It has been such an honor to attend the Okinawa Kenjitsu Dai Gakko and to study and perform under the direction of my sensei and senpai at school and at my odori dojo. They have shown me what the true meaning of dance is. To feel the song, feel the dance, and feel where all of this originated from, gives a totally new dimension to my dancing experience. What I now feel when I perform is unbelievable! 沖縄、それは日系3世、沖縄系アメリカ人の母国。その文化にどっぷりとつかり、人々、ライフスタイルに触れ沖縄は私の心と魂を夢にも思わない程に目覚めさせてくれました。ここでの一年間は多くの新しい体験に恵まれ、一年前までは想像も出来ない程に私の視野を広げてくれました。沖縄県立芸術大学で先生や先輩の指導の下、そして琉舞道場で学べた事を名誉に思っています。皆さんは私に踊りの本当の意味を教えてくださいました。唄を感じ、踊りを感じ、それらがどこから来たのかを感じる事によって私の踊りに新たな側面が与えられました。今、私が踊っている時の感覚には信じられないものがあります。

Spending time with and getting to know my family and friends in Okinawa has, in itself, been such a rewarding experience. To learn about where the roots of my family tree sits deeply gives me a strong feeling of belonging in everything about Ginoza and my mother land. I have also been gifted with so many friends with whom I've shared a multitude of learning experiences, and we enjoyed every minute of it! And, I have seen so many performances! It has been an absolutely wondrous experience! 沖縄で親戚や友達と時間を過ごし、知り合っていく過程そのものが素晴らしい体験でした。私のルーツを知るという事は宜野座の一部であるという事、そしてこの母なる大地、すべての一部であるという事を深く感じる事でした。私は、多くの友人に恵まれ、彼らと過ごしたひと時ひと時を満喫しました。そして、沢山の公演にも行く事ができました。実に素晴らしい体験でした。

My time is short and my year is almost over. I will always be grateful to the Okinawan government for opening the door to such a spectacular chapter of my life. I will take with me all the knowledge that I've gained and so many unforgettable experiences which have forever etched in my heart my love for Okinawa. I will, undoubtedly, return. 私に与えられた時間は少なく、一年もあとわずかです。沖縄県には私の人生に壮観な一章を与えてくれて感謝しています。私はここで得た多くの知識を持ち帰り、心に刻まれた沖縄への思いと生涯忘れることのできない経験を胸に、戻ります。

お蔭様で

いっぺーにへーでーびる
ダズマン・セイチ・渡久地

Okage sama de,

Ippe nihei deebiru,

Dazzman Seichi Toguchi



↑

Dazz & Rinken Tomoko san

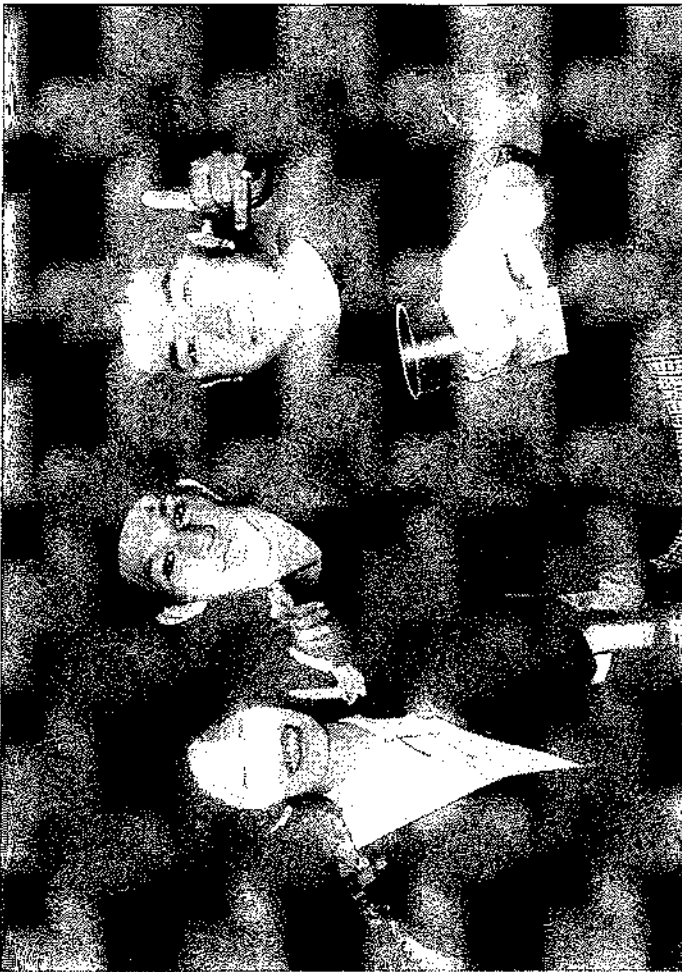


私 ↑↑
Geidai first
performance
平成 7月 7日

親戚 ↑



国立 →
“いに踊り”



ビール祭

あか子



俺
 ↑
 芝木
 際
 →
 たのしかった!!
 ありあき



↑ お盆 ↑
親戚の家



ゆいこ
不 →

俺の 21★オ たのしい たんじうび パーティー!!

うちなー最高！

私は、ボリビアから来た、吉田ひとしです。私は、2年間、農業
大学校の果樹コースで勉強しました。

初めて沖縄に来た時のことを今でも覚えています。沖縄とサンタ
クルーズは草木や気候、人びとの心がよく似ていると思いました。
ただ、海だけが違って、沖縄の海はとてもきれいだと思いまし
た。はじめは、日本語も出来なかったのも、不安や緊張でいっぱい
で、名護での寮生活もわからないことばかりで大変でした。しかし、
いい友達と出会えたことで、留学生活も充実してきました。友達か
ら、日本語を教えてもらったり、沖縄の文化や、楽しみ、うちな一
口などを教えてもらいました。この2年間、いろいろな所に遊びに
も行きました。例えば、留学生の冬の研修に行ったり、2004年は、
愛媛県に2ヶ月の研修に行ったり、とても楽しかったです。

私は、名護の農業大学で農業を勉強しましたが、他の留学生は、
琉球大学や芸術大学で、日本語や文化について勉強していました。
農業の勉強は苦痛ではなかったけど、日本語が出来なかったのも、
難しく感じました。学校の先生にも、もっと勉強してと言われまし

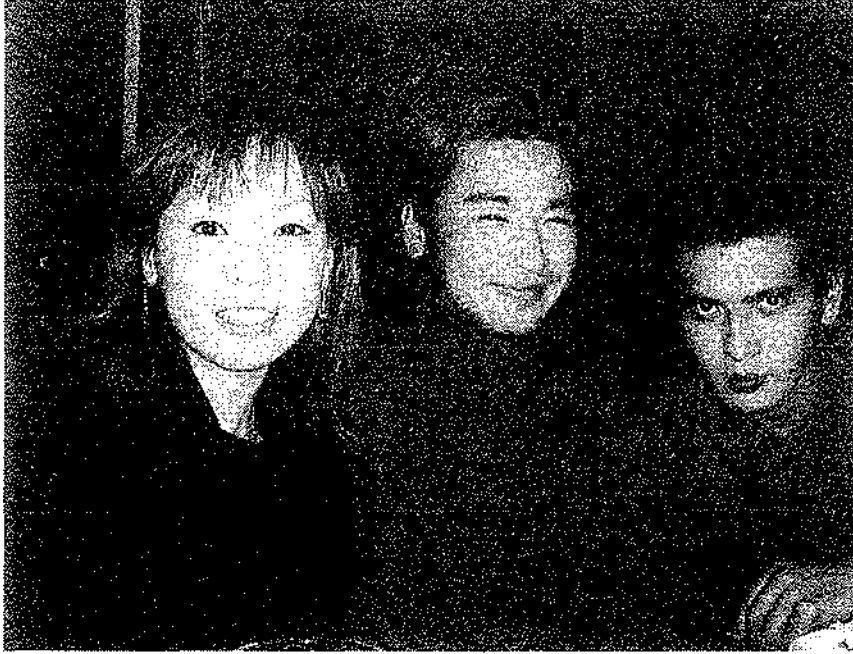
た。教科書は漢字がたくさんで読めなくて、勉強できなかったけど、作業は一生懸命頑張ったので、先生たちにほめてもらって、嬉しかったです。沖縄の刑務所（農大の寮）には、たくさん良い友達がいって最高でした。

学校の友達だけでなく、他にもたくさんの友達ができました。トロピカリシモで出会った友達、その友達の友達…、いとこの彼女…など、本当にたくさんの良い友達に出会えて良かったです。

沖縄で最高と思ったのは、友達と沖縄そば（山原そば）とうちな一口と、名護の美味しい水（オリオン茶）です。本当にうちなー最高！！

うちなーいいとうくまーさあー。

いっぺーにへーでーびたん



なっちゃん、とし、俺……居酒屋で ip... ip...ip...
楽しかったよおおお！



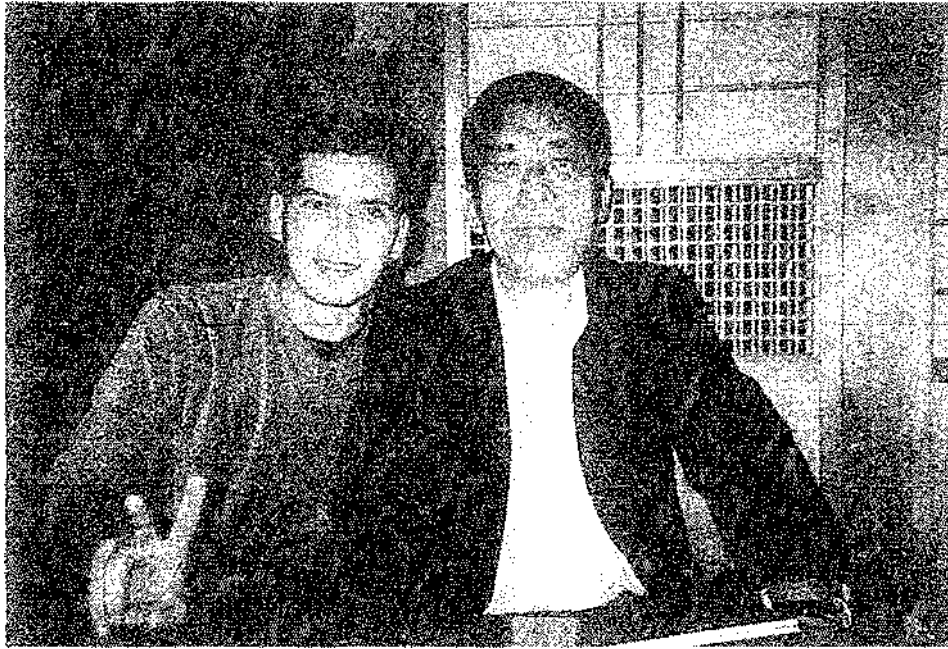
沖縄のヤンキーと日本のヤクザ??? (敏広と俺)
去年の終了式…さみしかったけどたあーくさん飲んだ！



おば一の妹（みさこ）と俺
去年初めて会った。農大の卒業式に来てくれた。
うれしかったあ（^_^）



農大の仲間と先生達
卒業式の後、みんなで居酒屋！みんな酔っ払って楽しかった♪



俺と担任の先生（金城ゴリ）

先生が俺のことを“不良学生”と言っていたけど…ホントは大好き!?

先生いろいろありがとうございました。

沖縄で過ごした日々

台湾 康 逸嵐

2004年4月9日、私は重い荷物を担いで沖縄に来ました。初めて家族たちと離れて生活することは楽しみにしていましたが、ほとんどなにも知らない沖縄に一年間も滞在することを思うと、不安もありました。

那覇空港に着いたら、担当の照屋さんをはじめ、県庁と財団の方々が空港まで迎えに来てくれました。照屋さんたちは同じ台湾出身の先輩・謝福台さんを紹介してくれて、琉銀や西原町役場まで案内していろんな手続の協力をしてくれました。しかも私の重い荷物を4階の部屋まで運んでくださって、本当にありがとうございました。

寮(C4)のみなさんも学校や生活面など、いろいろ協力してくれました。特に最初に寮に入った時、となり部屋のさやかは満面の笑顔で「はじめまして!」と挨拶してくれたから、私の不安をだいぶ取り除いてくれました。本当に感謝しています。

この一年間C4での共同生活は私にとってすごく貴重な経験でした。次に使う人のために綺麗に片付けることなど、人への思いやりを磨いていきました。リビングに行けば誰かとしゃべることができ、気づいたら夜中になるのはしょっちゅうのことでした。そのおかげで私は全然ホームシックになりませんでした。寮の人は分からない言葉を説明してくれたり、私を連れていろんなところへ行ったりしました。また、彼氏ができた人の喜びや、日



コウちゃんと愉快的なC4の仲間たち



私の誕生日パーティー+たこ焼きパーティー

で私は全然ホームシックになりませんでした。寮の人は分からない言葉を説明してくれたり、私を連れていろんなところへ行ったりしました。また、彼氏ができた人の喜びや、日

常生活の悩みもみんなで分かち合い、C4のみなさんは私の大事な「家族」だと、大声で言えます。

学校の先生方もいろんなことを親切に教えてくれました。特に指導教官の金城克哉先生はいつも私の我がままを聞いてくれて、誠にありがとうございました。上原先生の日本語教材研究は客観的な観点から教材を分析しており、さらに学習者の立場から多様な教材をデザインしていま

す。それは日本語教育だけではなく、人生への考え方にも適用するのすごく有益な授業でした。ケリ先生の日本事情は日本人でも知らないことをたくさん勉強することができて、



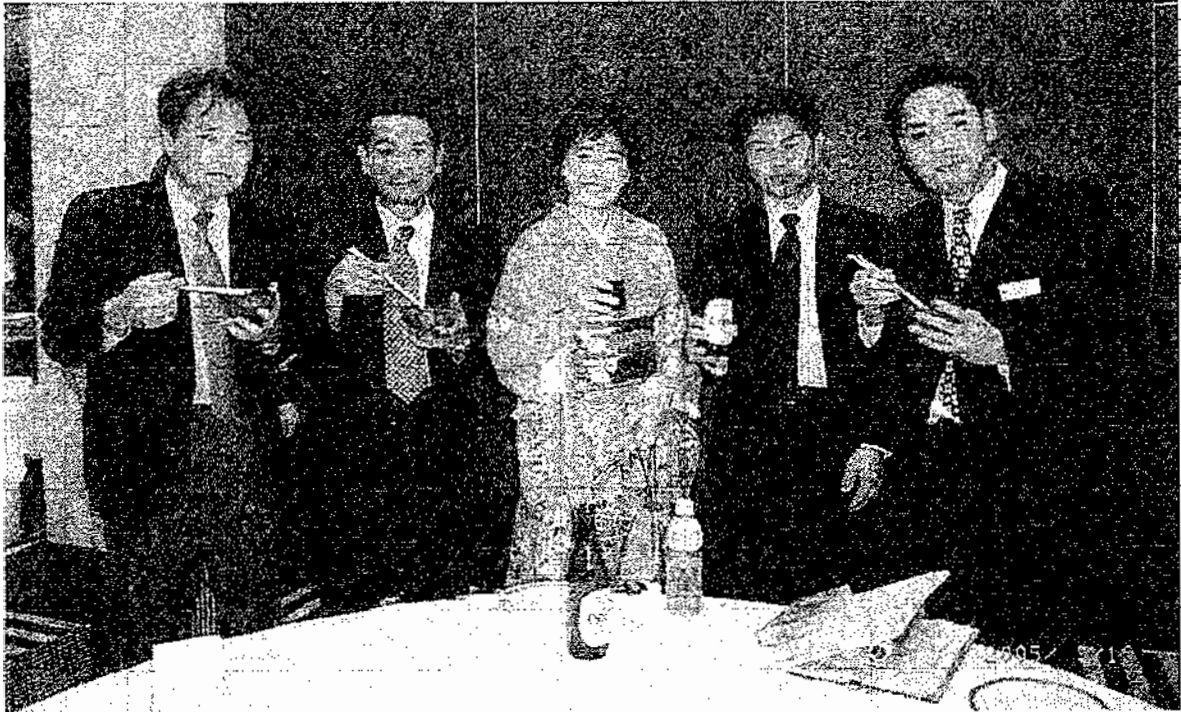
日本語教材研究・上原組のみなさん

「日本」という国に対してさらに詳しくなってきました。「琉球の自然」という授業を受けて、沖縄の自然環境やヤンバルに生息している生物たちを守らなければいけないことを改めて気づきました。また、日本語クラスではない私をいつも見学に誘ってくださった金城直美先生にはこの場をもって特に感謝の意を表したいと思います。

この一年間の中にたくさんのイベントにも参加してきました。花火大会の時は初めて浴衣を着ました。慣れないせいで足がものすごく痛かったけど、日本風の「夏」を体験できて嬉しかったです。帰りには初めて満天の星を見ました。その感動は今でも忘れられません。那覇まつりに大綱引に挑戦しました。残念ながら東は負けちゃったけど、すごく楽しかったです。首里城祭の冊封儀式再現イベントには当時の冊封儀式を実際に見ることができて、琉球王国の歴史をいっそうはっきりするようになりました。

終了式の時、振袖を着ました。和服を着るのは初めてだから慣れるまで本当に四苦八苦でした。着付けのおばあさんに聞いて、何十年もこの仕事を続いたから上手になることが分かった時、本当に感動しました。日本の伝統にはまた近づいていくような気がします。ところで、私は自分の振袖姿が結構いけてると思うが、寮の人に「ママみたい」と言われ

ました(汗)。意外と銀座で働けるかもしれません?!その時はこの終了報告書を持参するお客様は30% OFFにしておきましょうか。(笑)



スナック・コウちゃん、本日も営業しております。(失礼しました!)

学校の見学で沖縄の戦跡をたくさん見てきて、一年間の留学生活を経て本当に沖縄の基地問題の酷さを痛感してきました。私は沖縄の人ではないけど、一年間この土地に生活してきて、頭上に飛んでいく戦闘機や沖■大に落ちたヘリコプターとは決して無関係ではありません。この土地の人々のためになにもできないのは悔しいです。将来、基地問題を含め、沖縄になにか恩返しできればいいなと常に思っています。また、沖縄と台湾との架け橋になれるように、これからも頑張っていきたいです。

最後は、留学のチャンスをくださった沖縄県をはじめ、県庁のみなさん、沖縄県国際交流・人材育成財団のみなさん、琉球大学の先生方、琉大女子寮C4のみなさん、同じ授業を受けた日本人学生のみなさん、そしてここに出会ったすべての人たちにお礼を申し上げたいと思います。この一年間は本当にいろいろとお世話になりました。どうもありがとうございました!!ここでの思い出は私の大事な宝物になり、一生忘れません。



沖縄との出会い



- ウチナー病の私 -

台湾 林純如

今見ても懐かしい感じがするアニメは日本の「ドラえもん」、友達とよく食べに行くのは「しゃぶしゃぶ」と「焼肉」、好きな音楽や服は日本製…小さい頃から日本のことは普通に接触できて、違和感なく私の生活の一部だった。そんな私が大学に入る時、ひとつの言語を習おうとしたら、ちょうど成績が日本語学科に入った。それは運命と言っても過言ではなかった。それから大学4年間と就職の2年間、今までトータル7年間日本語を習ってきて、日本との関係、日本語の勉強は本当に私にとってかけがえのないものになって、これからも一生をかけて勉強し続けたいと思う。だから、将来日商企業に入って日本と台湾の貿易関係の一助になりたい私はもう一度思い切って日本語をしっかりと勉強し日本へ留学しようと思った。それは私が沖縄に来るきっかけになったのである。

一年前の私の日本に対しての認識は「日本本土」のことばかりだった。沖縄のイメージはただのきれいな島でマリンスポーツが盛んな有名観光地にすぎなかった。日本語を勉強すること以外、期待することはまったくなかった。そんな考えを持ちつつ、一年前に沖縄にやって来た。飛行機で一時間、家族との別れの不安がまだ回復してないうちにもう那覇空港に到着した。気温、環境、人の外見は自分の国とまったく同じ、日本語専攻と日本観光の経験で日本事情に詳しい私にとって、留学する気分はやや弱めになっていった。しかし、その後の一年間、私が経験した沖縄の留学生活は自分の想像以上だった。沖縄って奥深い魅力があるところもこの一年をかけてわかるようになった。私はやめられないほど、「ウチナー病」にかかってしまった！

留学生活は敷地のとんでもない広い琉球大学と所属の女子寮に入ってから始まった。狭い台北育ちの都会っ子の私に対して、毎日歩いて20分かかかる山登りみたいな通学路はきつかった。でも、時間とともに、私はこのきれいな学校を好きになった。虫の声、鳥の声、千原池の水音など自然の音が毎日聞こえるし、緑いっぱいだし、朝焼けと夕焼け…勉強の疲れや悩みがあるときに、遠くにいかなくても、構内で散歩したり、友達と生協によってお菓子食べたり話をしたら何となく大丈夫になった。沖縄に来て、ほかの学校ではなく、琉大に入って本当によかったと思う。そして、女子寮の共同生活はまた私の楽しみのひとつだった。違う生活習慣の人と

共同生活するのが大変だったけど、皆で一緒にご飯作ったり、テレビを見たりおしゃべりするのがとても楽しかった。勉強上の問題があったらすぐ助けてくれる人がいつもいてよかった。寮の皆さん、いつも親切にしてくれて、家族のように仲良くなってくれてありがとう！台湾の話をいっぱい聞いたと思うけど、いつか実際に体験しに来てくださいね。

琉大構内の風景

すごく癒されてる感じがする!!!



琉大構内の風景2!!!



朝目

紫陽花棟C2のメンバー!!!最高!!!

元々日本語に集中するつもりだった私でも、初めて沖縄の歌三線を聞いてすぐ惚れちゃった。それで大学の「琉球芸能研究クラブ」に入部した。琉芸の先輩たちのきびしい指導とともに、週二回の部活、渡嘉敷島での夏合宿、年一回の発表会を通して、私はだんだんできるようになった。歌三線のおかげで、私は沖縄について一層理解ができたし、友達も増えてきて、いくつかの舞台にも上がってみた。台湾に帰っても、三線を弾き続けて沖縄との交流を頑張ろうと思う。三線のほか、沖縄舞踊、エイサーもすこし触れたので、沖縄の伝統芸能について結構興味を持つように

なった。このような伝統芸能を永遠に続くため、もっと大事にされてほしい…。

2005
1.15
琉芸発表会



南校も：お疲れ〜
子新入生齊唱の女の子達：

また、いい留学生活を過ごすために、運動が必要だと思って、剣道を習い始めた。剣道はカッコよくて日本的だし、ストレス発散にはちょうどいいというイメージが持っていたけど、実際に習うと本当に難しくて何年間練習しないと上手になれない運動だと感じた。特に酷暑の時に稽古するのが一番大変だった。でも最後の稽古で、初心者の私でも防具が着けたら何とかできるように見えた。稽古の後、すごく気持ちよくて印象的な経験だった。一年間指導してくれた謝先輩、お疲れ様！どうもありがとうございます。そして、一緒に頑張ってきた台湾人留学生の仲間達、人数が少なくて10人もいないけど集まったらいつもすごいことになると思う。皆は本当に台湾の誇りだと言えるので、これからも頑張ろうね！



← 加

← 桂

← 留学生活!!!

RTC
(Ryukyuan
Taiwanese
Club
☺)

→ 10人くらいに
☺

先生のお勧めで、後期から私は法文学部の研究生になって日本語学について研究を始めた。そして1月に入ってから2ヶ月間は留学の一年間で一番大変な時期を迎えた。研究論文と重なり、漢字検定試験の準備、琉芸発表会、学校の授業などいろいろがあっただんどもない忙しくなった。特に毎日毎日論文との戦いは忘れられない日々だった。日本語力不足で論文と発表が一番苦手な私、この場をかりて、指

導して下さった副島先生に感謝を申しあげたいと思う。先生のおかげで、私は自分も絶対無理だと思った論文と発表をクリアした。漢検も順調に受かったし、本当にいい勉強になった。いろいろお世話になって、どうもありがとうございました。また、アンケート調査の協力をしてくれた皆、寮生の皆、チューターの茉莉美さん、応援してくれた留学生の仲間皆に、どうもありがとう。

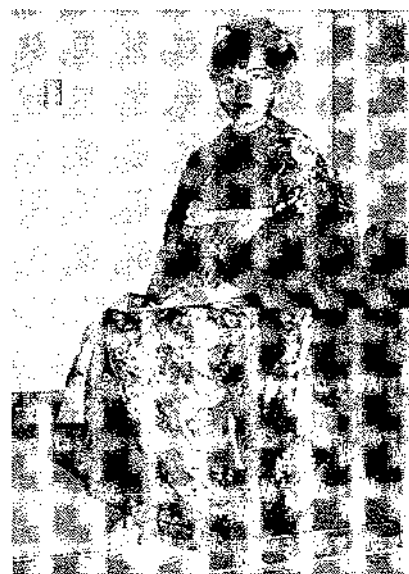
副島先生、花哉先生、ケリ先生、尚美先生、どうもありがとうございました。



人材育成財■の紹介で、ホストファミリーの上原さん家族一家と出会った。半年間だけ短い時間だったけど、よく食事や家族の集まりに参加させてもらったり、あちこち観光しに行ったりして、本当に家族のように親しくなった。また、日本の着物が大好きでいつか振袖を着る夢を持っていた私は沖縄で初めて振袖を着れた。修了式のほか、上原さんにおじいちゃんの生年祝いのパーティーに誘ってもらって、初めて日本・沖縄のこういう祝いに参加することができてとてもうれしかった。こんな素敵な経験を与えてくれた上原さんに感謝したいと思う。



↑ 飾り式!!!
楽しかった!!!



↑ 振袖!!! 変身!!!

沖縄に来て一番思わぬ、そして一番良かったと思うことは、いろいろな国の留学生たちと出会ったことだった。今まで日本しか知らなかった私が沖縄で世界と接触

した！南北米、韓国、カナダ、ヨーロッパ、東南アジア、ロシア、ラトビア、アフリカまで、皆それぞれ違う言葉、習慣、考え方だけど、日本語もしくはうちな一口を通し、友達になってお互いの交流ができた。私が沖縄で経験したことはすべて初体験だった。沖縄でなければ無理だと思うぐらいに貴重な留学生活経験だった。沖縄での思い出は一生忘れられない。

最後に、一緒に頑張ってきた県費の皆と沖縄で出会った友達にこのメッセージを伝えたい：今度会ったら、「こんなことあったよ」って話そう、そう思える相手がいる私は、世界一の幸せ者だ。皆と出会えてよかった！ありがとう。



県費の皆さん！！連絡続けようね♡



水遊び♡

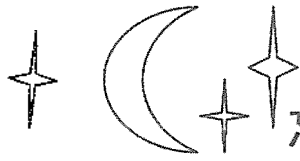


座間味自向♡

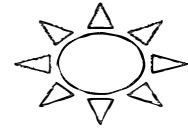
今度いつ会う？その日があるから、私は頑張れる。

純如

2005年4月.in Okinawa



忘れられない沖縄の生活



沖縄で一年近くの留学生生活を振り返って見ると「光陰矢の如き」と思います。その一年間に、日本語を勉強し始めて、私には日本語を勉強だけではなく、その背後にある沖縄の歴史や文化や社会背景などを理解できます。また、海外からの留学生とはいろいろな情報の交換ができるし、かなり付き合いです。本当に「外国生活の一年は、自国での十年分に相当する経験、発見をさせてくれる」と思います。



昔、琉球王国時代から沖縄と中国の交流はとても盛んです。沖縄へ来た前に、中国の友達「日本の漢字は中国人にとって意味を分かりやすいし、沖縄の生活習慣や季節や食べ物の味などと福建省のこと似ているので、心配しないでください。あなたは沖縄の生活にすぐ慣れるよ。」と言いましたが、私はあまり信じられませんでした。しかし、一年間のいい経験になって、今、思うとその話したことは本当の事でした。現在私は沖縄に深い感情を持っています。

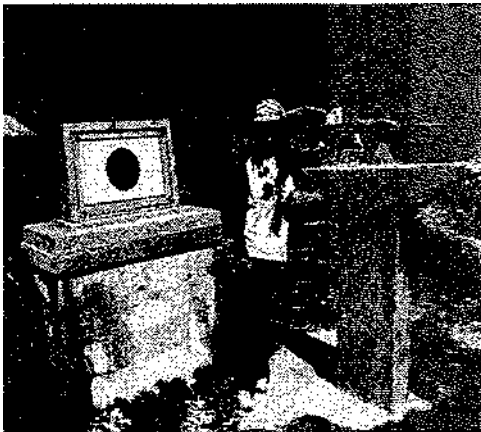
中国から沖縄へ伝えて来た物は漢字、中華料理、お箸、凧、シーサー、三線……その物を見て、親しくなって、故郷のように感じました。しかし、沖縄のシーサーと三線は自分の特徴があるし、沖縄の代表的な風物です。沖縄のシーサーは可愛し、活発だし、それに愛と勇気精神も含めています。ですから、これは私が大好きなものです。また、沖縄で三線の音をどこでも聞こえます。三線を弾きながら、沖縄民謡を歌うことはまるで昔の話を人に話しているようです。私はその和やかな雰囲気感動しました。

沖縄人は青空と美海を見えるし、のんびりで車を運転しているだから、絶対世界で一番幸せな人だと思います。たぶん、明るい青空と素晴らしい海に育てられて、沖縄人の心が広いそうです。誰でも親切だし、どこでも私にいろいろな

手伝いや面倒を見てください。



私は沖縄で道を迷うことを三回でも経験しました。あの困った時に、偶然に会った沖縄人は私を車で連れて送りました。沖縄人の心がこんなに熱いと感じました。



日本語を勉強の時に、先生達はいつも生徒と交流して、私達の質問や疑問に答えてくれます。先生達はいつもゆっくり、優しい感じさせる教え方をしてくれます。ですから、私達は、緊張しなくて、楽しく勉強することができます。

人材育成財団の方々にいつもお世話になります。特に留学生担当の照屋さんは何度も私に励むメールを送ったり、進学のことを指導したり、辛くても切りしなく、私を連れて入管に手続きをしに行きました。

心から敬意と感謝を申し上げます。

もし世界は一つの大家庭になったら、私も自由に沖縄へと友人に会いに来ることができるなら、幸せだと言えますね。

皆さんお元気で、またいつか会える日まで...

黄竞 Huangjing
2005年2月23日 沖縄

故郷

林啓福（中国）

皆さん、大家好！ここにちは！私は去年の四月に中国から来た林啓福です。今日私は故郷について話したいと思います。

期待と不安で胸をいっぱいにして、沖縄に来たことを今でもはっきり覚えていて、まるで昨日のよう感じられます。その時、私は日本語がとて下手で、英語やジュースやーや絵でコミュニケーションしていました。

意味が通じない場合も時々あつて、皆笑つて、本当に面白かつたです。

来日前に、日本について持つていた印象は文学や映画やテレビなどで知つていた日本でした。高校時代読んだ『さよなら』という綺麗な詩の日本の印象は今でも覚えております。

日本語訳はこうなつております。

伝わつてきた

頭を下げる時の優しさ

風に揺られて恥かしながら、ている蓮のように

元氣でいらしてください

元氣でいらしてください

彼女のこの一言

幸せに寂しさが含まれている

さようなら

これは八十年前に日本に留学した中国の詩人徐志摩さんが、日本人の友達のために書いた物です。この詩から、日本人の女性のイメージが伝わってきます。着物を着た、淑やかな女性のイメージです。その後、山口百恵

さんが出演した「伊豆の踊子」や「雪国」などの映画をみて、すごく感動して、山口百恵さんが大好きになりました。また、日本の富士山や桜や紅葉などは世界でも有名な風物詩です。それで、日本へ行くと、山口百恵さんと似ている女性に会って、富士山に登って、紅葉と桜を見ることがその時からの私の夢になっていました。皆さんもそんな夢を持っていますか？

日本にきて、まず、私は美しい沖縄の海に

感動しました。沖縄の海は素晴らしいですね。
青く透明な、太陽の光に輝く海です。そして、
海は遠くが青く、近くはエメラルドグリーン
に光り、珊瑚礁が透けて見えます。あまりの
美しさに言葉もなくなってしまう。今私
は沖縄にいるんだなあ。これは沖縄なんだなあ。
あ。と強く感じました。ビーチにはちらほら
人の姿があ。で、私も泳ぎたい、あの海に入
りたいと、強く思いました。この海を自分の
肌で感じないと、沖縄に来た意味がないだろ

うなあと思いました。

また、沖縄は、かつて琉球王朝と呼ばれた
一つの独立した国、長い間

琉球王朝と中国は冊封関係がありました。冊
封関係とは中国の皇帝が属国の国王に対し、
その即位を認め、文書を与えることです。

一四〇四年に、中国の使者が私の故郷福建省
から船で沖縄に来て、琉球王国の王様に会
て、最初の冊封儀式が行われました。その後

冊封関係はおよそ四百六十年間に渡り維持さ

れました。去年十月三十日に、初めて行われた冊封儀式から六百年を記念して、首里城祭の一環として、琉球国王の即位式「冊封儀式」の再現イベントが首里城で行われました。宣読官という使者が中国語で中国皇帝からの任命文書を読み上げ、国王を認めるのです。私はその宣読官として、出演しました。中国語では次のようになります。

「尔琉球国，壤分瀛峤，取奉溟疆，中山王世孫尚温，率乃祖攸行，篤前人成烈，固圉克堅於申函。上

「特遣正使趙文楷，副使李鼎元，冊封尔為琉球国中山王，并賜尔及妃文幣等物。上

私が沖縄に来て一番感じたのは沖縄は海が広くて美しいことと日本本土とは異なる独自の魅力的な文化があるということです。でも何よりも沖縄の皆さんの暖かい心に感動しました。美しい自然の中で暮らしているので、優しい心が育まれたのではないかと思います。

去年の十月に、ホームステイ対面会で、私は

新田さんと言う親切な方と知り合いました。
その時、新田さんは「林さん、沖縄にいるの
は寂しいですが？」と、「これから、沖縄で、
ここをあなたの家と思ったださい。私があ
なたのお母さんになりました。」と言っ
たださいました。心から感動しました。その後
私は新田さんの家に時々ホームビジットをし
ました。いつも新田さんは私を学校から家ま
で連れていって、ご主人が作ったラーメンや
刺身や寿司や海老など美味しい料理でもてな
してくださいました。また、首里城文化祭や
国立劇場へ琉球芸能を見にいって、たこもあ
ります。特に、お正月にホームステイをした時
新田さん一家と初詣をし、たくさん美味しい
お正月の伝統料理を食べて、いろいろなテ
マについて話して、とても面白かったです。
初めて日本人の家庭で過ごしたことはいい経
験になりました。
だんだん私も日本語が話せるようになり、
沖縄の人の暖かい心がだんだん分かるように

な^ってきました。そして、私は外国人という
ことを忘れてしまい、沖縄が私の第二の故郷
だという気持ちでい^っばいいになりました。皆
さんはどうですか？沖縄の人とあ^ってみてど
う思いましたか？沖縄の海が好きですか？沖
縄そば、泡盛、空手道、三線、踊り、島唄な
ども好きですか？
月日は夢のように過ぎて行^ってまいります
ね。私の一年間もあ^っという間に過ぎてしま
いました。今日のスピーチ大会が終^ったの、

多分ここににいる人の半分以上は母国行き^の飛
行機に乗^って帰^るでしょう。私は四月に中国
に戻る予定です。これから、皆さんともう一
度一緒に勉強することはないがもしれませ^ん。
自分の国に帰^って、私は沖縄のことを懐かし
く思います。皆さんも琉大での留学生活を思
い出してください。同じ先生や友達を思い出
してください。沖縄で会^った人、や^った事、
食べた物を忘れな^いでください。そして、自
分の国に帰^っても、空手道、三線、踊り、島

唄などをやり続けませんか？そうすれば、沖

縄はいつまでもあなたの心に残り、沖縄は皆

の第二の故郷になるでしょう。

では、皆さん、元気でいてください！

「青いエネルギーの島、沖縄」

梁 承 允 (ヤン スン ユン)

みなさんは沖縄についてどんなイメージを持っていますか。海がきれいな観光地、日本第一の長寿村、米軍基地がある少し怖いところ、などなど、いろいろなイメージが思い浮かべられると思います。私は沖縄に住んで、わずか10ヶ月しかたっていない、まだまだ沖縄のことがたくさん知りたいものですが、ここに、あえて「青いエネルギーの島」という新しいイメージを加えてみたいと思います。これから、私がこういう思いをするようになったきっかけについて話してみたいと思います。

私が沖縄について何も知らないまま那覇空港に着いたのは、去年の4月のことです。韓国で大学を卒業してから、日本に留学するべきか、韓国でそのまま就職するべきかで、最後の最後まで悩んだ末やっと決めた留学でしたので、そんなにすっきりした気持ちではありませんでした。韓国は深刻な不景気で、周りの友だちはみんな、一日でも早く仕事を探すためにがんばっていました。「来年になって、もっと就職が難しくなったら、どうしよう」と、私も知らないうちに未来のことを悲観的に考えてしまうのは、とてもつらいことでした。

そういう私の心を優しく慰め、また、勇気付けてくれたのは、沖縄の青い海でした。私が韓国で20年以上住んでいた仁川（インチョン）という町でも、海はいつもみられるものでした。ただ、黄海（ファンヘ）とって、海の中に土がたくさん解けていますので、沖縄の海のような鮮やかな色はしていません。黄海（ファンヘ）に慣れていた私に、沖縄の「限りなく透明に近いブルー」色の海は、まさに感激そのものでした。今まで何かに追われているようにあくせくと生活してきた私は、いつの間にか大自然の一部になっているような、とてもおらかな気持ちになっていました。沖縄の海は私に、「これからどんなにつらいことがあっても、このように青くて広い心さえ持っていれば、何でも乗り越えられるよ」と、ささやいてくれました。

こういう青い海とともに私のもうひとつの宝物は、私がこの沖縄で出会った人々です。いろいろな国から来た友達、いつも笑顔で向かってくださる先生方、そのほかにも、とても大切な人生経験をたくさん話してくださるいろんな方々の「青いエネルギー」のおかげで、私は毎日が楽しいです。特に沖縄の人は、国籍を問わず誰でも歓迎してくれます。5月のハリー祭りをはじめ、綱引き祭りやマラソンに至るまで、様々な沖縄の行事を沖縄の人々と一緒に楽しみながら、恥ずかしがりやで、消極的なところを持っていた私は、前よりだいぶ明るくなったような気がします。今は、初対面の人にも、私のほうから先に話をかけるのが大好きになりました。特にマラソンは、個人的に全然興味を感じられないスポーツでしたが、ホストファミリーの方のお勧めで1■参加してみたところ、一生楽しんでいきたい魅力的なスポーツになりました。いろいろな行事で、子供も、若者も、お年よりも、み

んなが一緒になっている姿は、韓■ではなかなかみられない光景であり、とても印象的な「青いエネルギー」でした。

私は3月の下旬にまた韓国に戻るようになります。沖縄に来る前の不安や悩み事は、たぶんこれからは問題にならないと思います。沖縄でもらった「青いエネルギー」を心に込め、何でも、何度でも、夢に向かって挑戦していきたいと思います。たまに、どうしても疲れてしまうときには、私の心の故郷の沖縄に再び来て、その「青いエネルギー」を充電させていただきたいと思いますが、沖縄のみなさん、よろしいでしょうか。^^

①留学生パーティのとき、韓国人の友達と



②チューターの明日香さんと図書館のボランティアを



③いろんな国の友達と



韓国にぜひ遊びに来てくださいね～♡
みんなありがとう～♡

Myo.

平成16年度 沖縄県海外留学生修了報告書

発行 財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団

〒900-0034

沖縄県那覇市東町1-1 那覇東町会館7階

TEL: 098-941-6755

FAX: 098-941-6812

